

Q1 北陸鉄道鶴来駅を移設し東西を繋ぐ道路の建設は。

質問 天狗橋交差点から鶴来支所間は北陸鉄道鶴来駅があるため鶴来本町4丁目町内と駅西地区が分断されていて人間や車の往来に支障をきたしている。駅舎を移設し道路を建設すべきでは。また、早急なる代替案として東西の横断陸橋の建設や鶴来駅西側に改札を設置しては。

答え 事業全体としては駅舎や車両工場の移転先、営業運転の確保等から総額約29億円の費用を要する、費用対効果から難しいと考える。

また、横断陸橋の新設は約4億円かかり、改札については北陸鉄道や関係機関と協議要望していく。市とすれば利便性の向上から道路整備が最も良いと考えているので、引き続き県と協議していく。

Q3 企業観光見学ツアーの企画は。

質問 市の「ものづくり力」の広域的なPRと若者が市内の企業に入社することでの若年層の定住化や企業の社会貢献の認知度の向上、雇用の安定確保や新産業の創出のため、商工会議所・各商工会と協議し企業見学ツアーを企画すればどうか。

答え 県が発行している産業企業ガイドマップによると、市内20社の企業が体験や見学を実施している。

観光連盟と白山手取川ジオパーク推進協議会で河合鉦山から陶磁器ニッコーへの旅のツアーを新しく企画し9月23日実施に向けた申し込みを受け付けている。企業の協力体制が重要であるので商工会議所、商工会と協議していく。

Q5 林道整備計画を策定しては。

質問 水源涵養機能強化、土壌保全機能強化、山地災害防止、木材生産機能の維持推進のため市内95路線の林道の維持などの整備計画の策定が必要である。また、崩落現場の早期の対応等のため、森林事業関係者と情報交換をする機会が必要である。さらに林道改良整備は、県が代行して整備を進める過疎代行事業の採択を受け林道整備を進めよ。

答え 現在策定していないが、市の森林整備計画や中期事業実施計画を林道維持管理計画として考えている。

白山市森林業振興協議会を通じ、引き続き林道に関する情報交換を進めて行く。改良事業は過疎代行事業が出来ないか、県と協議していく。

Q2 定住促進支援制度の拡充を求める。

質問 白山市人口ビジョンの転入者アンケートから20歳代～30歳代の約25%が、他の市町村を含めて住まいを探した上で、現在の場所に決めたとのことであり、転入条件では、約3割が住宅の価格・家賃と答えています。さらに20歳代～30歳代の50%が今後も住み続けたいと答えています。若年層の定住のため新婚夫婦賃貸住宅家賃助成、若年層定住促進奨励金の拡充は。そして、転入を希望する新婚夫婦に対し中古住宅購入も補助の対象とすべきである。

答え 他市町の動向や若年層人口動態を注視しながら対応していく。中古住宅購入の助成について制度の創設が出来るよう前向きに検討していく。

Q4 優良事業所表彰の充実とユースエール制度の周知は。

質問 「仕事と生活が調和する優良事業所表彰事業」の受賞企業に対し優遇措置を図るべきである。また「ユースエール認定制度」を推奨し商工会議所・商工会等と連携をとりながら若者の雇用の促進と白山市への定住化を図るべきである。

答え 受賞した事業所については、合同就職説明会で優良事業所として紹介し企業のイメージアップを図り優秀な人材確保がしやすく取り組んでいく。また、ユースエール制度について商工会議所、商工会にご協力いただき周知を図り若者の雇用確保と定住化を図る。

Q6 白山白川郷ホワイトロードの交通安全対策と渋滞緩和対策は。

質問 白山白川郷ホワイトロードの10月の行楽シーズンの普通車等の通行量は約3万5千台と利用が多く、さらなる観光誘客のため、交通安全対策として待避所の増設、路肩の拡幅、各駐車場の拡張等を石川県に対し要望すべきである。また、渋滞緩和対策は。

答え 県では、今年度からトンネルヤスノージェットなどの点検診断を実施し、長寿命化計画を策定しており安全性の高い道路整備を要望していく。渋滞緩和対策は今年7月三方岩駐車場の拡張を行った。また、土日曜日・休日は2カ所の料金所ゲートをあけて対応している。

現在の役職 予算常任委員会委員長(初代)／広報広聴常任委員会委員長／白山石川医療企業団議会監査委員／白山市サッカー協会会長／白山市相撲連盟会長／石川県フィンランド友好協会副会長／石川県サッカー振興議員連盟会員／クレイングラウンドゴルフクラブ会長／元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長／神奈川大学宮後会石川県支部常任幹事／錦丘同窓会代表幹事

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員 **寺越 和洋**
 E-mail: terakos@asagaotv.ne.jp
 メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
 メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
 携帯電話 090-7088-0000
 〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
 昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
 昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
 昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
 平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
 平成17年3月～ 白山市議会議員
 平成19年3月～20年3月 白山野々市広域事務組合議会議員
 平成23年3月～24年3月 白山市議会副議長(第7代)
 平成25年3月～26年3月 白山石川医療企業団議会議員
 平成26年3月～27年3月 白山市議会議長(第10代)

白山市議会議員



てらこし和洋
白山市議会通信

2016年11月号

今年も、あとふた月を切りました、早めの冬支度が望まれます、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

さて、今年もいろんなことがありました。熊本の地震、北海道、岩手県の台風の被害など毎年のことのように自然災害が発生しております、お亡くなりになられた方々には心よりお悔やみを申し上げますし、被災をうけられた皆様にお見舞いを申し上げますとともに早急なる復興を願うばかりであります。

国政の方では、伊勢志摩サミットの開催、オバマ大統領の来日、プーチン大統領の来日予定、さらに安倍総理のキューバへの訪問など世界にたいして新しい1ページを開くような年でありました。

また、石川県においては、新幹線の開業効果の持続性の施策と活動や敦賀・大阪への延伸活動など重要な時期にきております。

一方、白山市では新幹線の白山駅設置が大詰めを迎えていますし、昨年から引き続き尾口地域の山の斜面の崩壊対策に中央への要望活動と中国深陽市や世界ジオパーク認定を目指し市長の海外への渡航など多い年でありました。

市行政としては、金沢市を中心とした連携中枢都市圏形成に係る取組みと、平成29年度から10ヶ年の白山市の在り方を定める第二次白山市総合計画、キーワード「健康・笑顔・元気」をもととした総合計画の肉付けが少しずつ行われています。

さらに、来年は、新幹線効果の持続や白山白川郷ホワイトロード料金値下げ効果による交流人口拡大や白山開山1300年に向けての年であり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの協力体制や経済波及効果の活かし方が必要

となります。しかし、地域的には地域間の格差の是正には、物足りなさがあるように思います。

昨今、地方議員の政務活動費の使い方や日々の活動が問題視されている中、2月には白山市議会議員選挙が行われます。

過日、私は次期の選挙にあたり町内や地区の推薦を賜ったわけでありました。町内や地区の皆様方に心から感謝申し上げます。

いつの時代どの地域でも自己中心主義の考え方の議員がいる中、私自身軸足が市民であることを忘れずに、夢と希望と努力することが報われ、暮らしやすい社会の実現のため議員として挑戦していきたいと思っております。

そして、さらなる安心して暮らすため安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。

今後とも、皆様方から市政に対するご意見を頂戴しながら、皆様のご意見を活かして市民の負託に応えていきたいと思っております。

最後に今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申し上げ、貴台始めご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



第10回全国市議会議長会 研修フォーラム参加

◎8月補正予算	一般会計補正額	11億6,887万円
歳入の主なもの		
・繰越金		6億5,970万円
・市債		2億5,220万円
歳出の主なもの		
・情報セキュリティ対策強化事業		3,200万円
・低所得者世帯に係る多子世帯保育料軽減、第2子保育料無料化事業		214万円
・B型肝炎ワクチン定期接種事業		1,100万円
・産地パワーアップ事業補助金		1億1,348万円
・保安林等保育実証事業		128万円
・道の駅整備事業		3億3,555万円
・鶴来地区都市再生整備事業		100万円
・エネルギー教育推進事業		50万円
・松任中学校プールフルシーズン対応化事業		7,000万円

◎8月補正予算後の総額	
・一般会計	513億4,562万円
・国民健康保険特別会計	133億6,610万円
・後期高齢者医療特別会計	10億6,937万円
・介護保険特別会計	93億4,801万円
・簡易水道事業特別会計	3億1,904万円
・墓地公苑特別会計	3,847万円
・温泉事業特別会計	2,314万円
・工業団地造成事業特別会計	7,482万円
・湊財産区特別会計	3,023万円
・水道事業会計	21億2,351万円
・工業用水道事業会計	8億6,108万円
・下水道事業会計	85億1,814万円
合計	871億1,751万円

◎平成27年度 決算			
一般会計歳入(収入)	526億9,721万円	総額歳入(収入)合計	763億4,851万円
歳出(支出)	515億1,195万円	歳出(支出)合計	746億9,175万円
		市債(借金)合計	900億5,581万円
		基金(貯金)合計	87億7,413万円

*企業会計は除いています。詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。